

新着図書からおすすめの5冊

(平成24年11月6日掲載)

貸出と予約の開始は**11月6日(火曜日)**、インターネット予約の開始は**11月13日(火曜日)**です。

『名画の食卓を読み解く』

大原千晴 著

大修館書店 刊

「西欧は肉食」というのは本当？ルノワールやデューラーらの絵から見えてくる、いにしえの人々の生活や思い、今に通じる姿とは？美術史ではなく食文化史の視点から、食卓を描いた絵を読み解く。

著者紹介：早稲田大学法学部卒業。「英国骨董おおはら」店主。骨董銀器専門家。食文化ヒストリアン。カルチャースクール講師、雑誌連載執筆も経験。著書に『食卓のアンティークシルバー』など。

請求記号：383.8/O,27

『今の働き方が「しんどい」と思ったときのがんばらない技術』

西多昌規 著

ダイヤモンド社 刊

がんばり過ぎて心がしんどくなったときは、がんばることをやめてみませんか。8割思考の仕事術やコミュニケーション術、自分とのつきあい方などを、精神科医・医学博士の著者が最新脳科学データを基に解説します。

著者紹介：1970年石川県生まれ。東京医科歯科大学卒業。精神科医・医学博士。自治医科大学・講師。著書に『「昨日の疲れ」が抜けなくなったら読む本』『「月曜日がゆううつ」になったら読む本』など。

請求記号：498.8/N,81

『オルガンハウスの小さな奇跡』

桑原あきら 著

書肆侃侃房 刊

障がいはあるけれど、笑顔の可愛い温ちゃんを中心に、両親と子ども3人の気持ちが届く家「オルガンハウス」。その建築に関わったコーディネーターが、一家の家づくりの過程と奇跡のような日々の営みを綴る。

『コミュニティが顧客を連れてくる』

久繁 哲之介 著

商業界 刊

マーケティングが顧客を連れてくるってホントなの？ 足立区、板橋区、宇都宮市、浦河町、宇和島市などの事例を紹介しながら、顧客や地域とコミュニティをつくる「商業経営の本質」を解説する。

著者紹介：1962年生まれ。早稲田大学卒業。地域再生プランナー。都市研究センター研究員。著書に『日本版スロースティ』『地域再生の罫』がある。

請求記号 : 527/Ku,95

『海を渡った古伊万里』

大橋康二 著

青幻舎 刊

日本、インドネシア、南アフリカ、オランダ、オーストリア、ドイツ。陶磁器の遙かなる旅を辿りながら、王侯貴族が愛した「輸出古伊万里」のすべてを美しい写真とともに紹介する。コラムや資料も収録。

請求記号 : 751.1/U,74

請求記号 : 673/H,76

※本の内容紹介は、図書館流通センター (TRC) MARCより引用しました。

→ [バックナンバーはこちら](#)

→ [新着図書の一覧はこちら](#)

→ [インターネット予約・貸出についてはこちら](#)

[資料紹介へ戻る](#)

[佐賀県立図書館のトップページへ](#)